

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	バンダキッズ元町児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と集団療育時間の確保	集団療育では、認知・運動能力の向上を図るとともに、社会性などの自分以外の他者との関わりをメインに活動内容の立案を行っている。 個別療育の時間は、各個人が最も課題とする内容を訓練出来るよう、集団療育との差別化を図っている。	各児童の現状を職員間で共有し、発達の最接近療育をベースに活動内容を考慮していく。
2	保護者と連携を取った支援計画の作成	事業所内だけの様子で支援計画を作成するのではなく、家庭や幼稚園・保育園などの関連施設での様子も考慮し保護者様と現状課題を確認しながら支援計画を作成する。	保護者様との信頼関係を図り、支援計画作成のための面談の際には、児童の課題・成長した部分などを共有・確認出来る環境を作る。
3	固定化した活動と変動的に行う活動の充実	節分やハロウィンなどの季節に合わせた行事を固定化して行うとともに、日々の療育内容は固定化しないよう、目的と目標に合わせて内容を職員間で相談しあう。	保護者様や地域の方々との交流の場を設定し事業所外の人との関わりを増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修時間の確保	子どもの特性に合わせた人員の配置が出来ておらず、勤務時間内に研修などの時間を割くことが難しい。	人員配置の見直しをするとともに、業務の効率化を図り勤務時間内の余暇時間を確保する。
2	保護者や地域の方々との関わり	コロナ過以降、保護者会や地域の方々との交流会を開催を控えたままになっていた。	数名のグループに分けての保護者会など感染症対策を考慮しながら、交流の場を増やしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		バンダキッズ元町児童発達支援事業所						
		公表日 2025年 2月 25日						
		利用児童数 16				回収数 12		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				・広々としていて、十分に確保されていると思う。	今後も十分な活動スペースを確保できるよう、教室内の構造化の際は配慮します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			2	・とても手厚いと思います。	神戸市の基準を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			2	・絵カードが使用されていたり、子どもたちが過ごしやすい空間になっていると思う。 ・自分のロッカーがどこか分かるように工夫されていると思います。	イラストやカラーテープを使用し、子どもたちが目で見てルールが分かる環境を整えています。 安全柵の設置、こっせとのカバー設置など、安全面にも考慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				・清潔です。	定期的な清掃の他、空気清浄機や加湿器、エアコンを利用して過ごしやすい環境を整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				・子どもの特性に合わせて、声掛けの仕方などを工夫して頂いているので満足です。 ・いつも寄り添ってくれて、優しい声掛けをしてくださいます。	集団療育の他、個々の発達度合いに合わせた個別療育も行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12				・合っていると思う。	5領域に沿って療育を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					今後も保護者の方と課題整理を行い、よい計画書作成できるように努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					今後も保護者の方と課題整理を行い、よい計画書作成できるように努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				・期間を設定して、面談時に達成か未達成かの報告があるので、しっかりと行われていると思う。 ・個別力幾の時間には、苦手な事を工夫して下さり取り組んでいるようです。	職員間で新しい課題に関しても細かく周知徹底し、支援に繋げられるようにしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1			・毎回いろんな活動や遊びをしており、子どもも喜んでます。 ・色んな活動を経験していると思います。	個々の課題に沿ったプログラムの設定、季節を感じられる活動など今後も継続していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	3	5		関連する保育園や幼稚園と交流する機会を設けられるよう努めます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				・不明な点もすぐに答えてくださいました。	契約前には出来る限りお子様同伴の上で事業所を見学頂き、支援プログラムなど見て頂くと共に、運営規定などの説明も行っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				・丁寧に説明を受けました。	保護者の方が必要とされる支援ができるように努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	3	3		送迎時や面談時以外にも保護者の方々が療育の相談や情報を得られる機会を作れるよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12				・連絡帳や送迎時に詳しく状況を伝えてくれるので安心です。 ・連絡帳でのやり取りや、送迎時に伝えて下さっています。	送迎時や連絡帳を使って、日々の様子や課題を伝え、共通理解を深めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11			1	・相談したことに対して、いつも考えてくださり、助言を受けています。	定期的に面談や、お子さんの様子を見学して頂いています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				・本当にいつも感謝しています。	保護者の方の思いに寄り添い、支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	2	6	・送迎でも合わないので、保護者会などで一度お会いしたい気持ちもあります。	コロナ過以降、保護者会などの人が集める行事を行っていなかったため、また保護者同士が交流できる機会を作りたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1	・口頭や連絡帳での相談をした際、すぐに対応して下さいます。	契約時に相談窓口の説明は行っています。また、随時相談は責任者が窓口となり行っています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				・急な休みの連絡にも対応していただき、助かっています。	営業時間外も急な体調不良やご相談にご対応させて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		1	・SNSとお便りなど、いつも楽しみにしております。 ・Instagramの更新とても楽しみにしております。更新頻度が高くていいかも。	個人情報の扱いに注意しながら、日々の活動の様子を定期的にお伝えさせていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					引き続き、個人情報の取り扱いには細心の注意を行い管理します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12				・「今日は〇〇の訓練をしました」と報告があったり、周知の為の紙もありました。	保護者に対して災害時の手紙を配布しています。避難訓練の実施に関しては広報誌で周知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12					毎年訓練計画通りに、訓練の実施を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12					安全計画について周知し、職員間で定期的に計画マニュアルの確認を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12				・送迎の際、説明を受けています。	速やかに保護者に連絡を取り、説明と対応方法を伝えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				・嫌がることなく、楽しく通所しています。 ・毎日楽しく通所しています。歌をよく歌ってくれたり、製作も喜んでいきます。いつも優しく寄り添って下さり本人のペースで頑張っています。	職員との信頼関係を築き、安心して通所して頂けるように努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			・次の日が通所する日だと分かると、ニコニコしながら準備するほど楽しみにしています。	様々なプログラムを準備し、子ども達の興味関心が広がるように取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・保育所では時間をかけられない部分にも向き合ってくれるので、とても満足しています。 ・もっと顔を合わせてお話ししたいと思うこともあります。	保育園にお送りする際にも、保護者の方に今日あったことをメールでご連絡するなど取り組んでいます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
バンダキッズ元町児童発達支援事業所		2025年 2月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		大人数で運動できるスペースを確保しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		神戸市の基準を満たしています。今後は市の定めた基準だけでなく、こどもの特性にあわせた職員配置ができるように努めていきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			・壁面に作品を飾りすぎると注意が散漫になりやすい状況があるので、気を付けていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日子供たちが帰った後に掃除をしています。 ・空気清浄機による換気・エアコンなどの温度調整をし、過ごしやすい環境にしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、放課後デイサービスの部屋を借りたりしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○		職員全員の時間の確保が難しく、目標設定や振り返りが出来ていないことが多いです。個別の面談など、個々に振り返りを行っています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表を回覧し、業務改善に役立てています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に個人面談が実施され、抱えている問題を相談したり、日々の業務の改善案を話し合っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部からの評価は受けていませんが、今後は必要に応じて連携していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		研修を受けたいという意欲はありますが、時間の確保が難しい状況です。動画やオンラインでの研修など、療育時間外の業務時間に出来る研修を受けられるよう努めます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		全職員に公表内容、公表場所を周知しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		職員間で各児童の発達状況を確認し、課題整理を行い、よりよい計画書を作成できるようにしています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		現場の職員と一緒に発達状況と、今後の課題について話し合い、計画書の作成を行っています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ミーティングの時間に作成された支援計画の共有が行われています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達段階を標準化されたツールで確認し、共通認識しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な項目を細かく確認し、具体的な支援内容を設定できるように話し合いを行い、作成しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週案を作成する際、職員間で相談しあうようにしています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		過去の週案や年間スケジュールを直ししたりして週案を作成しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		週1回程度個別療育の時間を確保し、その子に必要な訓練を行っています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		伝言板や連絡ノートを使って、職員間で必要な情報は共有できるようにしています。勤務時間・送迎時間の都合上、毎朝必ず打ち合わせをすることは出来ない為、引き続き連絡ノートなどを使って情報の共有を行います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		伝言板や連絡ノートを使って、職員間で必要な情報は共有できるようにしています。勤務時間・送迎時間の都合上、支援終了後に全員がそろって打ち合わせを行うことは出来ない為、引き続き連絡ノートなどを使って情報の共有を行います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日誌・個別支援記録を書くようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者とのモニタリング前に、職員全体での支援計画に対しての状況把握をしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理責任者が関連機関とやり取りし、必要に応じて状況を理解している者も参加するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		かかりつけ医、保育園、小学校などと交流する機会は少ないですが、必要な時に連携が取れるよう努めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			連携を取り、情報共有を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			放課後デイサービスと情報を共有し、小学校や特別支援学校と連携を取っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		必要時には連携します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			公園利用時に、一緒に遊具を共有して遊ぶことがあります。地域の子どもたちと交流できる機会を増やせるよう努めています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時や連絡帳を使って、日々の様子や課題を伝え、共通理解を深めています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		日々の送迎時や面談など以外でも、ご家族が参加出来る研修の機会を作れるよう努めています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際には時間を確保し、契約書や運営規定についての説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		可能な限り直接活動の様子を見て頂く時間を確保し、その後支援計画についての面談を行うようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		課題と支援内容を項目ごとに細かく説明し、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談時には迅速に対応し、相談内容によっては面談や関係機関と連携を図っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		コロナ以降、保護者会が開催することが出来ていないため、また再開できるよう努めます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談時には迅速に対応し、相談内容によっては面談や関係機関と連携を図っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		広報誌とインスタグラム、ホームページで必要な情報と、日々の活動内容の発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・SNSやお便りに写真を使用する際は、ダブルチェックをしています。 ・個人情報が記載されているものに関しては、鍵付きのロッカーに保管しています。	
非常時等の対応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉の理解が難しい場合には絵カードを使用するなど、お互いが適したコミュニケーション方法を使用するようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ハロウィンなどの行事の際、近隣の施設の方と交流を行っています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・毎年各マニュアルの更新を行い、避難訓練や防犯訓練を子どもたちと一緒にしています。 ・訓練後にはお便りを配布し、家族への周知を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎年訓練計画通りに、訓練の実施を行っています。また、必要な物や水の備蓄もあります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		お菓子を購入する際には、アレルギーの物が入っていないかを確認し、提供時にも確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		主治医の記入した書類の保管も行い、全職員が確認できるようにアレルギー表示もしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年度初めに安全計画を作成し、計画に沿って安全管理研修や避難訓練を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時の連絡方法など、書面で配布を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった場合は、詳細を職員間で情報共有し、今後の改善点等の話し合いを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員（ドライバーも含む）に、定期的に研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		全職員（ドライバーも含む）に、定期的に研修を行っています。	